

.....

敵の策略に無知になるな

今日は外側を剥がして行って、私が「大規模な無知」だと思っている、核心に迫りたいと思います。それは、サタンの欺きによって焚きつけられ、さらに、神が送り込まれている「惑わす力」も合わさっています。私が個人的に強く思っているのは、欺きと惑わしは、私達の内部が直面している何よりも最大の脅威でしょう。国家としても、そしてさらに重要なのは教会としても、です。使徒パウロが書いた、テサロニケへの手紙第二 2 章 9 節から 12 節を見てください。彼はこう書いています。

“不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行われます。なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。それは、真理を信じないで、悪を喜んでいたすべての者が、さばかれるためです。”

(第二テサロニケ 2:9-12)

木曜日 (8/17)、“イスラムによる攻撃”(バルセロナでのテロ事件)をテレビで観ていました。ご理解ください。私は絶対に“過激派イスラム”とは呼びません。それは重複語になりますから。イスラムは、過激なのです。これは、また別の機会にお話しします。それを見ながら、私が衝撃を受けたのは、“イスラム”という言葉が、全く出てこなかった事です。はじめの内は特にです。そして、後になって ISIS が犯行声明を発表した時に、軽く扱われればよい方で、最悪は却下されていました。私は、頭文字が好きですが、「イスラム国イラク・シリア」の頭文字をとった「ISIS」と、また、特に前大統領がいつも使っていた言葉、「ISIL」。彼は意図的に言っていたと私は思っていますが。これは、「イスラム国イラク・レバント」の頭文字です。皆さん、レバントが何かご存知ですか？これは「約束の地」です。イスラエルの名はありません。ISIS の中にも、イスラエルはありません。約束の地の、元々の境界線を、イスラムがレバントと呼ぶ地域と重ね合わせてみると、ぴったり重なります。型紙を取って、重ね合わせてみてください。全く同じですから。これで、頭文字が、基本的にすべてを覆い隠してしまう事がお分かりですか？これを見れば分かりますよね？Islam State (イスラム国)？これがイスラムの実体で、イスラムのしている事です。カリフの地位、国を創設すること。それをする際にイスラムは、イスラエル国を破滅させる事が求められているのです。イスラエルは存在できない。それらすべてが、この“ISIS”という頭文字に隠されているのです。だから私は、いつも彼らを「イスラム国」と呼ぶのです。

と言うと、「イスラム国は、領土を失いつつあると聞きましたよ？」と皆さんは言うでしょう。「彼らは、かなりの打撃を受けている。」と。はい、分かりました。しかしながら、イスラム教徒が、トラックに乗って人ごみの中に突っ込んで行くと、かなりローテク(低技術)ですよ。しかも、これはどこでも、いつでもできる。そういう事が、起こっているのです。

この報道を見始めてから、3, 4 時間が経過して、ようやく「イスラム」という言葉が出てきました。しかしながら、それは、Fox ニュースのシェパード・スミスが、トランプ大統領のツイッターに書かれた

のを、バカにして使ったのです。彼は、大統領のツイートを、ただバカにする為に引用して、“Snopes(都市伝説サイト)”の大義の元に、それを退けました。Snopes(都市伝説サイト)が、Snopes(中傷)されているのですから、面白いですね。皆さんご理解されていると良いのですが、Snopesは、果てしなく“反クリスチャン”です。私の知る限りでは、ある夫婦が自宅で始めたところ、これが事実か嘘かで、訪問者が押し寄せたようですが、これらが嘘である事は、すぐに分かります。どうか皆さんは、クリスチャンとしてしっかりと洞察してください。

シェパード・スミスですが…ところで、彼にはイエスが必要です。彼が、これを却下するなり、私はチャンネルを変えてツイッターを開いて、大統領のツイートを発見しました。彼は激しく中傷され、バカにされていました。大統領のツイートを引用します。

——『パーシングアメリカ軍総司令官が、テロリストを捕まえた時に何を行ったかを調べてみたら、35年間、過激派イスラムテロがなかった事が分かった。』——

これは、興味深いですね。実は、私はこれに関して、以前聞いたことがあったので、もう少し調べてみようと思いました。それに面白そうでしたし。特に、イスラムテロを35年間も止めていたことを、アメリカの大統領がツイートしているなんて、彼は何をしたのか知りたいと思ったのです。そして、何故私達はそれをしないのか？

ところで、このパーシング軍総司令官について、私も調べてみましたが、皆さんが彼について調べても、どうか驚かないでください。出てくるのは全て、反トランプで、その上、ある人がとても面白い事を言っていました。「もし、トランプが癌を治療したなら、彼らは、治療のためにそれを創った事で、トランプを非難するだろう。」わお、それは事実だと思いませんか？

同じ事がツイッターで起こっていて、そこに登場している流行りは全て、“反トランプ”“トランプ弾劾”“トランプ暗殺”。ふざけて言っているのではありませんよ。という事で、テロ攻撃から1時間後、“#トランプ弾劾”のツイートが16万6千件。これだけでは足りないなら、“トランプが暗殺されれば良いのに”というツイートが1454件。後に分かったのは、これはミズーリ州議員マリア・チャペル・ナダルが、「トランプが暗殺されれば良いのに」と、フェイスブックに投稿したところから来ているとの事。私が気づいたのは、ツイッターでの流行りが、誰かの意向で変えられていると言う事。イスラムや、イスラム教について触れているハッシュタグ(#)が、不気味なほどにないのです。お見せしたスクリーンショットは、バルセロナのテロ攻撃の、1時間後に撮ったものです。その時は、28万2千件のツイートの内、“#イスラム”のツイートが、1つも無いのです。1つもです。

では、大統領がツイートした、ジョン・J・パーシングに戻りましょう。興味深い人です。ポリティカル・コレクトのプロパガンダがたくさんあったので、それらをかき分けるのに、かなりの時間がかかりましたが、パーシング総司令官は、何を行ったと伝えられているのかを、私は知りたかったのです。時間の関係と、あと衝撃的な描写を避けて言いますと、彼は、テロを止める為に、豚を使ったと言われています。「豚」です。その理由と言うのは、イスラム教徒は、豚に触れると絶対にパラダイスに入れない為で、清くない豚に触れるというのは、イスラムでは禁じられていますから。次にくる疑問は、これは実際に起こった事なのか？これに関しては、皆さん、ぜひご自分で調べてみてください。なかなか面

白いですよ。でも、実際に起こったのか？私は、結構な時間を費やして調べてみたのですが、100%の確信をもって、これが起こったといえるだけの情報は得られませんでした。そして、引っかかるのがその理由です。もし、彼が行っていたとして、大統領が正しいければ、この記述は、“修正論”の被害者となります。「修正論」です。私が思うに、ここアメリカでは“修正論”がとてもひどい状態でしょう。そしてもしこれが、このまま衰える事なく続けば、アメリカ合衆国が崩壊するのも、時間の問題だと思います。一致すれば立ち、分断すれば倒れる。

先週、歴史的記念物が取り壊されたり、南部連合軍旗が燃やされた事は、皆さんも見聞きしているでしょう。昨日はまた、ボストンで新たに抗議デモや集会が行われ、立て続けに起こっているように感じます。そして、自分が間違いである事を望みますが、どんどん悪化しながら続いていくように見えます。ところで、先週も言いましたが、今週もまた言います。これは、ソウル・アリンスキーの脚本通りに行われているのです。過激派の規則、彼がルシファーに捧げた本です。ルシファーに、です。そしてこれは、ジョージ・ソロスや、バラク・フセイン・オバマや、バレリー・ジャネットその他のような人間の一部が、取り仕切った動きです。無知でいないでください。どうか、無知にならないでください。この国を、内側から崩壊させようとする動きがあるのです。ちなみに、これで、聖書預言にアメリカが出てこない事にも説明が付きませんか？

ベレヤ人のようになって、聖書を調べてください。私の言葉を、そのまま受け取ってははいけません。どうかご自身で調べて、確認してください。「先生、脅かさなさいでください。」という人が居るでしょうか。良いですか？今日は、たくさん言葉を飲んでいられるのにお気づきになっているでしょうか。血圧が上がっては大変ですから。

とても良い機会なので、私達は、人々と格闘しているのではないという事を、もう一度確認しておきます。私達の格闘は、イスラムに対してではありません。イスラムは敵ではなく、イスラムは伝道の対象です。私達の格闘は、霊的な領域の主権、力、この暗闇の世界の支配者たちです。だから私は、サタンの欺きについて、パウロが、テサロニケの人々に書いた手紙を引用したのです。これは、サタンの手口です。パウロは、「サタンの策略に無知になるな」とコリントの教会に書きました。彼は、分断して勝ち取るのです。分断して、勝ち取るのです。彼は内側から分断して勝ち取り、破滅させます。彼は、ライオンのように獲物に忍び寄ります。獲物に食いつき破滅させる為、絶好のタイミングを待ち構えて、攻撃するのです。それが、サタンのする事です。私は個人的に、このサタンの欺きが、実際に世界で、特にここアメリカ合衆国で起こっていると思っています。

これを通して、私が言いたいのは次の通りです。このサタンの欺きは、アメリカの歴史を修正しているだけでなく、教会の歴史も修正しています。説明します。さらに踏み込んで言うと、キリスト教に加えて、イスラエル、特にエルサレムも、先ほどお伝えした、この修正論の被害者になっています。さらに踏み込んで、この修正論の共通項は、他の何でもなく、イスラムを介した悪魔自身だと言っておきます。敵が、いつもイスラムだけを独占的に使わない事に気づいた時、彼は偽物によって、本物を破棄する事に、ある程度成功してきた事が分かったのです。簡単に説明します。

イスラムは、偽宗教の偽物です。アッラーは偽神、モハメッドは偽預言者です。これは本物の偽造で

す。その逆はありません。だから 70 ドル札の偽札を見た事が無いのです。本物の 70 ドル札なんてものが、存在しないから。本物しか偽造しません。事実、偽物は本物の正当性を証明します。偽物が、本物の正当性を説明します。偽造キリスト、偽キリスト、偽宗教、それが本物を承認し、その正当性を証明するのです。真のキリストをです。だから、コーランの中には、聖書の神に言及している箇所が、たくさんあるのです。イエスに至っても同様です。出来るなら、試してください。聖霊の力によって、大胆になれば出来るでしょう。イスラム教徒に近づいて、イエスについて聞いてみてください。「素晴らしい預言者だ！素晴らしい人だ！」「彼は、モハメッドと一緒に戻ってきて、モハメッドの為に祈るのさ！」と言うでしょう。ご存知でしたか？私は、そこまで鋭い人間ではありませんよ。それでも、私から見れば、これは偽物でしょう。そして、本物の正当性を証明している。そう思いませんか？興味深いのは、来臨と、終わりの時のしるしについて、イエスが弟子たちから聞かれた時に、イエスは言われました。「人に惑わされないように気を付けなさい。わたしの名を名乗る者が大勢現れる。」と言われました。「わたしの名を名乗る偽メシアが、大勢現れる。」「騙されるな。」と。

という事で、白状すれば、私も他の人同様に、人を非難してしまいがちです。政治家を非難するのは簡単です。政治が悪い、学校が悪いというのは簡単。「学校で祈らないからだ！」

ブルックリン タバナクル教会のジム・シンバラ牧師が、説教の中で言った事がとても響きました。彼はこう言ったのです。

「問題は、学校で祈らない事ではない。問題は、教会の中で祈らない事だ。」

真実は、裁きは、ホワイトハウスから始まるのでも無ければ、学校から始まるのでも無く、それは神の家から始まるのです。使徒ペテロが、第一ペテロ 4:17 に書いたことを見てください。

“なぜなら、さばきが神の家から始まる時が来ているからです。さばきが、まず私たち始まるのだとしたら、神の福音に従わない人たちの終わりは、どうなることでしょうか。”（I ペテロ 4:17）

終わりに、黙示録 2 章を開いてください。1 節から 7 節まで読みたいと思います。これは、7 つの教会の 1 つ目エペソの教会に宛てた手紙です。ヨハネがこれを書いていた時というのは、彼は、現在のトルコ沖に当たる、エーゲ海のパトモス島に一人で居り、基本的に、イエスが彼を独裁していました。エペソの教会が創設され、エペソ人への手紙が書かれてから、約 35 年が経っていました。なので、これは「エペソ人への手紙第二」と言っても良いでしょう。ただ、これを書いたのは、聖霊に満たされた使徒パウロではなく、イエスご自身です。という事で、35 年後のエペソの教会への手紙は、次の通りです。

“エペソにある教会のみ使いに書き送れ。『右手に七つの星を持つ方、七つの金の燭台の間を歩く方が言われる。「わたしは、あなたの行いとあなたの労苦と忍耐を知っている。また、あなたが、悪い者たちをがまんすることができず、使徒と自称しているが実はそうでない者たちをためして、その偽りを見抜いたことも知っている。あなたはよく忍耐して、わたしの名のために耐え忍び、疲れたことがなかった。」（黙示録 2:1-3）

わお！彼らは、すごく頑張っていたじゃないですか！そして、その事で主は彼らを褒めています。で

も、4節でこう言われています。

“しかし、あなたには非難すべきことがある。あなたは初めの愛から**離れて**しまった。”(黙示録 2:4)

失ったのではなく、「離れた」。「捨てた」と訳されているものもあります。意図的に、初めの愛から離れてしまった。

“それで、あなたは、どこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、初めの行いをしなさい。”

“初めの行い”とは何か? 「そんな気になれない?」感情は後からついて来ます。

“もしそうでなく、悔い改めることをしないならば、わたしは、あなたのところに行って、あなたの燭台をその置かれた所から取りはずしてしまおう。”(黙示録 2:5)

これは、唯一の光の源ですよ。これを取り去られてはいけません! 私達は、世の光です!! もしかしたら、この為に、教会がもはや世の光で無くなって、世が、これほどに暗いのかもしれません。燭台を取り去らないでください! 悔い改める事をしないならば…。

“しかし、あなたにはこのことがある。あなたはニコライ派の人々の行いを憎んでいる。わたしもそれを憎んでいる。”(黙示録 2:6)

これだけでも、面白い学びです。なぜだか分かりますか? ニコライとは、2つの言葉です。ちなみに、ナイキが有名になったのは、あのマークの為です。“ニケ”や“ナイキ”は、“勝利”、“征服”を意味します。そして“ライタン”は信者の事、「信者たちが、征服していた。」彼らは、ニコライと呼ばれていて、それが彼らだったのです。それから主は、こう言われます。これは、全ての手紙の締めくくりです。

“耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。勝利を得る者に、わたしは神のパラダイスにあるいのちの木の實を食べさせよう。”(黙示録 2:7)

一つ、的確に書かれています。私達は、悔い改めなければならない。覚えていてください。まず、悔い改める。そして繰り返す。あなた方が、落ちた高さを思い出しなさい。あなた方が、初めてキリストの元に来た時、どれくらい高かったか、覚えていますか? 初めの愛。あんなにイエスを愛していたのに。どうしたんだ? あなたは離れてしまった。あなたは捨ててしまった。他のものが入り込んだ。まずは、初めの頃は、どんなだったかを思い出しなさい。そして、悔い改める。180度向きを変えて、そして初めの行いを繰り返すのです。初めの愛を。

最後に、大切な事をお話しして終わります。もう少しだけ、お付き合いください。私自身も含めて、私

達全員が、自分を探らなければならないと思います。自分の中に信仰があるか。また、自分は信仰のどこに位置しているのか。つまり、もし皆さんがキリストにあったとするなら、あなたのキリストとの歩は、どの位置にありますか？初めの愛を離れてしまいましたか？ガラテヤ人の手紙の学びに戻って、打ちのめされて、力なく歩んでいますか？

「自分がクリスチャンなのかも分からない。」

「特に、説教と、預言アップデートを聴いた後、なおさら、全ての事に疑問を持ち始めたよ？」

「自分は聖霊が宿っていると思っていたのに、先生は、聖霊の洗礼を受けろと言いました。」

よく聞いてください。今日、きちんとしませんか？どうかよく聞いてください。

今日、たった今、きちんとする機会を、皆さんに与えたいと思います。今日、ガラテヤ人への手紙で、聖霊を求める事、聖霊を受け取る事、聖霊の洗礼を学んだ人、ある人にとっては、今日、主が聖霊を通して、悔い改めを、非難でなく説得されたかも知れません。あなたの人生の中に、罪が居座ってしまっているかも知れない。主は、だた優しく、実に優しく、主は、くすぶっている灯芯を無理やり消すような事はしません。痛んだ葦を折るような事もしない。主は良い羊飼いです。あるいは、主の赦しが必要なのかもしれません。そして、初めの愛に戻る決心をしなければならないのかも知れない。もしかすると、他の人、それは、オンラインでご覧になっている方も知れません。今日、あなたの人生において、これまでになく、最も重要な決断をしなければならないのかも知れません。永遠のいのちの為に、です。

これで終わりたいので、まずは簡単な画像から始めたいと思います。私達が福音・良い知らせと呼ぶ、とてもシンプルなメッセージが、うまく伝わる画像です。



はじめ、神と人とは共に居ました。

しかし、アダムを通して、罪が世に入り込み、人は、神から離れてしまった。

そして、ガラテヤ人への手紙で学んだように、罪から来る報酬は死、死刑です。これは悪い知らせ。



けれども、アダムを通して罪が世に入り込んだ為、イエスは、第二のアダムとして、死んで私達の罪の全額を贖うため、世に来られました。これが良い知らせ。

悪い知らせとは、罪から来る報酬は死だということ。しかし、良い知らせは、神からの賜物は永遠のいのち。

パウロが、エペソ人への手紙 2:8-9 でこう書いています。



“あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは自分自身から出たことでなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることをないためです。”

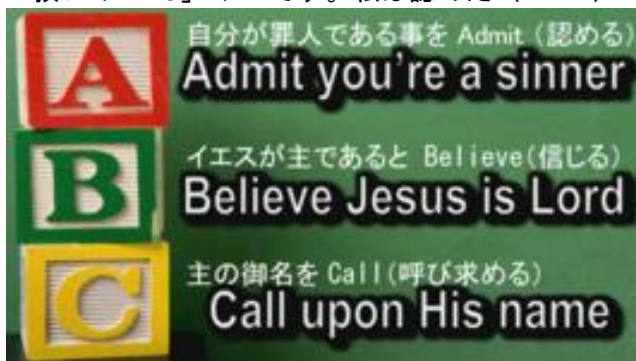
(エペソ 2:8-9)

これは、私達が受け取る賜物なのです。こうして、十字架の上でなされた事を、キリストのよみがえりが、ギャップを埋め、人を再び神と結びつけるのです。問題は、私達のひとり一人が、いつか神の御前に立つことです。そして、私達が天国に入る事の保障となる決断は、私達は、イエス・キリストに関して取った決断のみです。イエス・キリストに関して、私達はどうか？イエス・キリストによって全額を贖われ、差し出された救いを、私達はどうか？主の贖いを受け取ったか？自分の義に立っているのか？もしあなたが、自分の義に立っているとしたら、あなたは、永遠に失望し、破滅しますよ。ちなみに、地獄は永遠ですよ。地獄が永遠でなかったら、天国も永遠ではなくなります。地獄は永遠、天国も永遠、以上。以上です。永遠を、地獄で過ごすのか。永遠を、天国で過ごすのか。中間はありません。「浄罪界」や「辺獄」なんて場所はありませんよ。天国か地獄、それだけ。これが事実です。これが事実。

そこで、あなたはどうしますか？私は、地獄へは行きたくありません。私は、これで救われたんです。私には、神学なんて無かったし、何も知りませんでした。全く自慢になど思っていませんが、私は飲酒で頭がおかしくなっていて、衰弱していて、祈りも、ろれつが回っていませんでした。そして、祈りながら気を失ったのです。私の祈りは、基本的にこうでした。「地獄へ行きたくありません。天国へ行きたいです。」そして、救われました。かなりシンプルで、かなりめっちゃくちゃですよ？でも、私は、こうして救われたんです。翌朝起きると、新しく造られた者になっていました。

“古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。” (第二コリント 5:17)

それ以来、私は一度も過去を振り返っていません。私はただ、自分が罪人であると認識した。それが、「救いのABC」のAです。私は認めた (Admit) のです。



「神様、私はあなたに対して罪を犯しました。」
「そして、私には死刑が宣告されています。主よ。私はそれを認識しました。」

“「義人はいない。ひとりもない。」”

(ローマ 3 : 10)

そして、ローマ 3 : 23 で運命が封印されます。

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず” (ローマ 3 : 23)

私達は、罪びととして生まれた。だから、私達は新しく生まれなければならないのです。

“罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。”（ローマ 6:23）

以上が A、次に B です。

イエス・キリストが主であると、心で信じる（Believe）。

“…あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。”（ローマ 10:9）

心で信じるのです。

そして、C は Call（呼ぶ）、または Confess（告白する）。「イエス・キリストが主である。」と。

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。”（ローマ 10：9）

その理由がこちらです。

“人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。”（ローマ 10：10）

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」”（ローマ 10：13）

ご起立下さい。皆さんにお伺いします。もし今日、神との関係を正しくしたいと思っておられるなら、もし、主との間にすべき事があるなら、どうか、主との間ですべき事をしてください。主に告白してください。悔い改めて、主の元に戻ってください。主を呼び求めてください。主に聖霊を求めてください。そして、今日ここを出られる時には、この美しい教会に来た時とは、すっかり違うあなたで帰ってください。そうでしょ？皆さん、いかがですか？そうしたいと思いませんか？では、そうしましょう。

祈りましょう。

天の愛するお父様。ありがとうございます。主よ、感謝します。主よ。あなたは、今この場所で、この教会のひとりひとりの心をご覧になっておられます。ひとりひとりが、今日必要としているものを、あなたはご存知です。ですから主よ。今、この静まった時間に、高さところから私達の声聞いてくださいますか？私達の叫びを聞いてください。一人だけでなく、複数の方の、ずっと渴いた不毛の中で、カラカラになって、疲れ切った魂を感じます。イエスは言われました。

“すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。”（マタイ 11:28）

ずっと、神から逃げている人が居ます。愛する天のお父様が、両手を広げて待っておられます。あなたを罰する為でなく、あなたを回復させる為に。家に戻りませんか？

次もまた、一人でなく複数の方が、敵が、人生の中の失望を利用して、あなたを絶望させようとしている。イエスは、あなたを励まし、強めたいと願っておられます。イエスは、あなたが主の元に来て、何

でも求める事を望んでおられます。何でも必要なものを、ただ求めてください。必要なものを、何でも、です。

とても寂しい人がいます。孤独と戦っている人。イエスは言われます。「わたしが、あなたの孤独に対する答えだ。わたしの所に戻っておいで。」

最後にもう一度、ここで今、機会を持ちます。特に、オンラインでこれを観ている人、聖霊の洗礼を受けなさい。聖霊が、あなたの上から注がれなければ。どうか求めてください。ただ、求めてください。今、求めてください。魔法の言葉も何もありません。

「主よ、聖霊をお与えください。」「聖霊を受け取ります。」

主よ、ありがとうございます。主よ、感謝します。主よ。この限られた中で、私達がどうして十分にあなたに感謝の気持ちが言えるでしょうか。唯一の慰めは、私達は天国で永遠にあなたを賛美し、あなたに感謝できるという事です。だから、あなたの来られる時まで、今はこう言います。主よ。本当にありがとうございます。主よ。心より、ありがとうございます。イエスの御名によって、アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい